

青葉の丘

だより

《第152号》
介護老人保健施設
青葉の丘

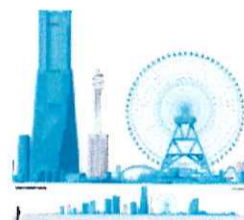
TEL : 045-904-2255
FAX : 045-904-1511
www.aobanooka.com



横浜市老健大会

『ヨパシフイコ横浜』

七月八日にパシフイコ横浜にて横浜市介護老人保健施設研究大会が開催されます。当施設からは三演題発表します。



家族の学びたい気持ちが生み出した家族勉強会 ～共に成長できた3年間～



これまで「家族でも行える介護技術」「排泄介助の方法」をテーマで家族勉強会を開催しました。勉強会の中で、ご家族の自発性や積極性に私達も学ぶ機会となり、今回研究テーマとして大会で発表する事に決めました。今後ご家族が抱える不安や疑問に寄り添えるように考えていきます。
発表者：半谷 共同研究者：桜庭、野田

「私もそこに入れて」 ～繋がる認知症ケアに取り組んで～



これまでの施設で行われている回想療法で使用する絵カードに着目し、新しい絵カードを作りました。今後も利用者様の笑顔を引き出せるように日々のレクリエーションに取り組んでいきます。
発表者：永井
共同研究者：井口、新野尾、持田

「介護助手です こんにちは」 ～現役の介護助手による現状の発表～



皆さん、「介護助手ってご存知ですか？」青葉の丘では、身体介護以外の業務で、職員の補佐をする職種を「介護助手」といっています。
今回は、介護助手がどんな仕事をしているのか、職員とどのように関わっているのか、それに伴い利用者様にどのような効果をもたらしてきたか発表します。
発表者：小出 共同研究者：長谷川

職員紹介



一月から二階介護士(夜勤専門)として勤務している榎義治です。介護職は初めての経験で不安もありましたが、先輩職員の皆さんのご指導と、利用者様の笑顔やお言葉に日々元気を頂いております。技術や知識はまだですが、利用者様の心に寄り添った介護が出来るよう一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。
(二階介護課 榎義治)



絵本「葉っぱのフレディ」の名付け親日野原重明先生の死生観から高齢者の人生を美しく彩ってという教えに加えて、生育歴や生活歴を踏まえ説得力より納得、関わり合い方が理解を深めることを念頭に置き、「生ききる」ことの入居者様の傍らで、自らの仕事の導線を確認し、認知専門棟で働かせていただきました。お願ひいたします。
(三階介護課 白滝キミ子)



私の故郷を紹介します。出身地は長崎県吉岐市です。人口約三万人の離島になります。漁業と農業が盛んです。皆様もぜひ機会があれば、白い砂浜とエメラルドグリーンの海を見にいらして下さい。
(看護課 恋川 妙子)



デイケアより

平素よりご利用ありがとうございます。ご利用を希望される方が増え、お陰様でどの曜日も定員近くなりました。乗車人数、お荷物も増えております。荷物の軽量化にご協力の程よろしくお願ひします。(鹿田)

通所リハビリテーション課に勤務し、9ヶ月が過ぎました。お客様の人数が多く、戸惑いもありましたが、スタッフにフォローもあり、楽しく働いています。ご迷惑おかけすることもありますが、よろしくお願ひします。
通所部 平野 秀子



「介護保険負担限度額認定証更新」はお済みですか？

対象となる方は、新しい認定証を八月二十五日までにご持参下さい。ご持参されなかった場合、八月分からは通常料金での請求となりますのでご注意ください。
(総務課)

ご面会の方へお知らせ

正面玄関入って右側にございます、紙パックの自動販売機を六月末で業者都合により撤去させていただきます。ご家族様にはご不便おかけしますが何卒ご理解いただきますようお願い致します。また、それに変わる新たなサービスを、社内で検討中がございます。今しばらくお待ち下さいますようお願い申し上げます。

喫茶店からお知らせ

6月25日開催の日曜喫茶からケーキセットの料金を250円から300円に料金を変更させていただきます。誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次回日程
平成29年6月25日(日)
日曜喫茶(入所) ☕
13:30~

※皆様のご来店をお待ちしております。